

2025年度東地区部会研修会（PB研修）コース案内

1.概要

研修コース名	Problem Based 研修
日程（回数）	2025年6月、7月、9月、10月、11月（計5回）※別途報告大会あり（項3参照のこと）
曜日・時間	毎月第2金曜 13:30-15:30 第1回：2025年6月13日（金）13:30-15:30 第2回：2025年7月11日（金）13:30-15:30 第3回：2025年9月12日（金）13:30-15:30（日程変更の可能性あり） 第4回：2025年10月10日（金）13:30-15:30 第5回：2025年11月14日（金）13:30-15:30
実施形態	オンライン（ZOOMミーティング） グループワーク（120分） （ただし第3回は集合研修になる可能性あり） 研修時以外の学習：参加者間で自主的に決めます。
募集定員	25名（先着順・最少催行人数：5名）
担当者	高野 真理子（大学図書館支援機構）

2.詳細

内容	参加者の課題意識・関心をまとめて、PBL (Problem Based Learning)のテーマを設定し、各段階で進捗に応じた情報交換や討議を行います。 第1回 研修ガイダンス、課題情報交換とグループ設定、研究方針計画策定 第2回 具体的なテーマ設定、解決へのアプローチ方法（事例収集等）の検討 第3回 事例*や参考文献の収集と課題解決の仮説創案 第4回 課題解決策の検討および推敲 第5回 課題への取り組みのまとめ *解決策を検討する上で事例収集の必要があれば、オンラインではなく集合研修（見学）に変更する可能性があります。 その場合は、事前に日時の変更及び集合場所についてご相談します。 毎回グループ討議と自由な情報交換で120分を構成します。（途中休憩含む）
到達目標	各大学図書館で抱える問題や、より良いサービスに向けた課題を参加者（受講者）間で共有し、参考になる知見を集め、解決に向けたアイデアを出し合う機会を提供する課題解決型（Problem Based）の研修です。課題は参加者の問題意識や関心に合わせて設定します。パブリックサービス、テクニカルサービスどちらの課題でも構いません。例えば、図書館が行うイベントについて、オンライン非来館型サービスについて、著作権やILLについて、電子資料（収集・整理・利用）について、オープンアクセスにおける図書館の役割、総合的発見環境について、AIの活用…等々です。（2024年度は「デジタル化・電子化は、図書館のスペースと利用促進を救うことができるか？」を課題に設定しました。）アドバイザーが課題解決の技術的な支援をします。 問題意識を持ち、他の大学図書館とのコミュニケーションを通して、自己解決力をつけることを目標とします。また、その成果を活かし、大学図書館サービスの向上に寄与する人材の育成を目的とします。

3.研修報告大会

目的	研修内容に関する情報共有
内容	研修コース講師による研修内容の報告 受講者（代表者複数名）から自身の学びについての所感報告
報告形式	オンライン、オンデマンド動画配信
日程	本番：2025年12月12日(金) 【受講者全員参加】 リハーサル（接続確認等）：2025年12月5日(金)【講師・所感報告者参加】

4.受講条件

資格・経験	図書館サービスに前向きな課題意識を持っている方なら、資格を問いません。管理職、中堅職員、図書館業務経験の浅い方も、一緒に課題に取り組んでいきましょう。
環境	インターネットに接続できる環境とブラウザ（Zoomを使用します）
その他	全5回出席を基本としますが、やむを得ない事情で欠席した人には、録画を提供します（集合研修は除く）。 参加者が自発的に課題を決めたり、自主ミーティングを行なうなど、定期開催以外の自由な活動を妨げません。